

結果と要約

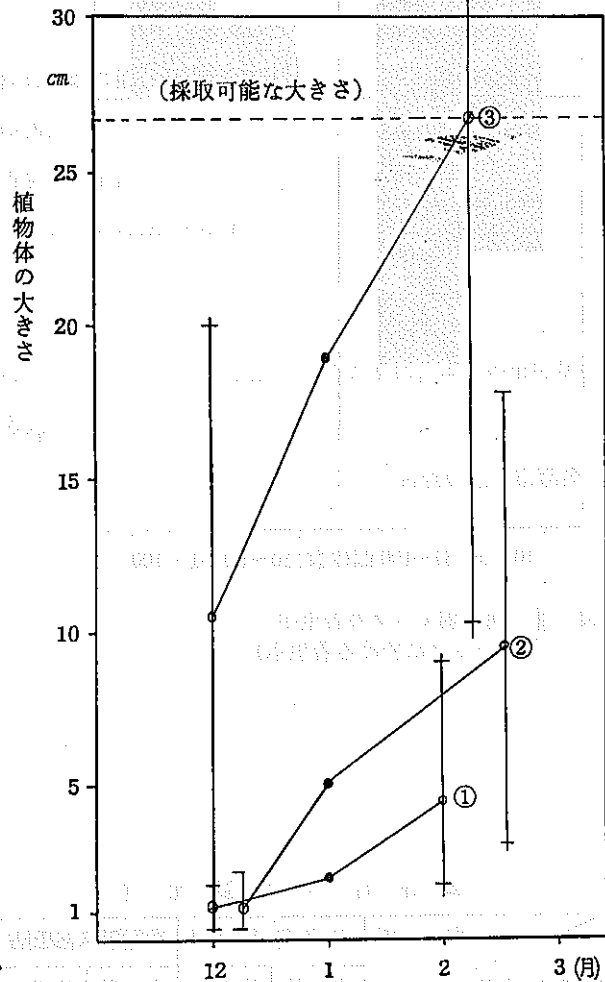
2. モズクの成長

モズクの一般的な生育過程は9月中旬頃から発芽をはじめ3月から6月頃まで採取が行なわれる。(地域によっては2月頃から採取可能な大きさに生長する)6月以降は植物体は消失し肉眼で観察できない状態になる。年によっては、6月以降7.8月にかけて新しいモズクを採取した例もあり沖縄産モズクの複雑な生態の一面がうかがわれる。

図一Ⅱに示されるように、地域によりいちぢるしい生長の差異がみられる。その要因については、調査中であるが、だいたい次のようなことが考えられるので、今後は水試と協同調査の検討を行ない下記要因の究明に当る必要がある。

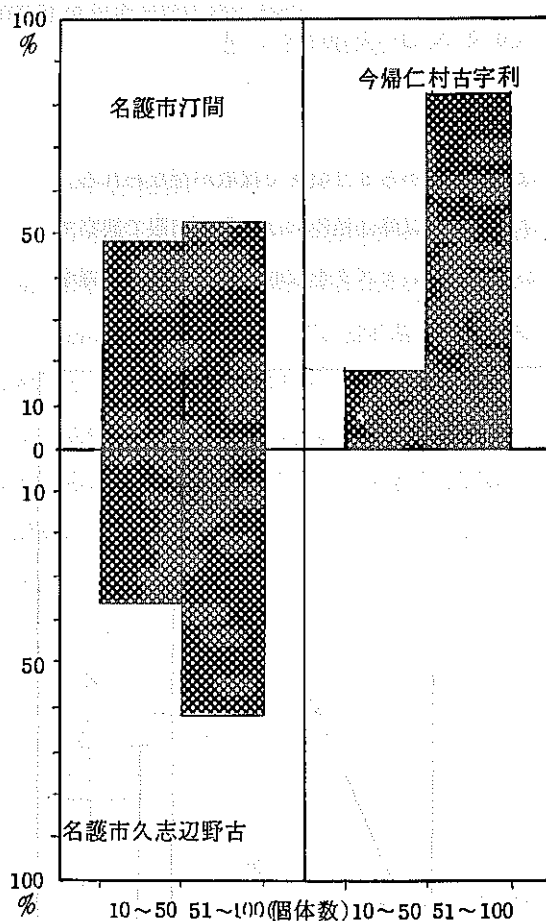
- (1) 水深による発芽生長及び消失時期に遅早がみられる。
- (2) 地先漁場の潮流の変化による生育状況の差異
- (3) 汚染の度合による着生状況の差異
- (4) 比重の変化による生育状況

投石日別生長と着生状況については、図一Ⅳ・Ⅴに示されるように11月~12月にかけて、投石したのが生長及び着生率が良いと、いう結果がでていた。したがって、投石は7月以降を投石適期とするよりは、9月中旬以降12月中旬頃までを投石適期としたいが、地域や漁場によってもいちぢるしく差異がみられることから、できれば、地域にあった投石時期を把握したほうが賢明な投石法ではないかと考える。

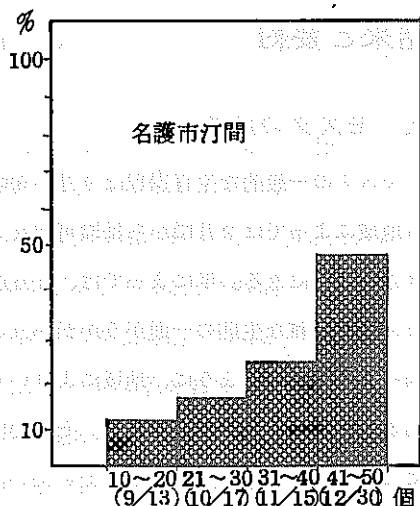


図一Ⅱ 地域別モズクの生長

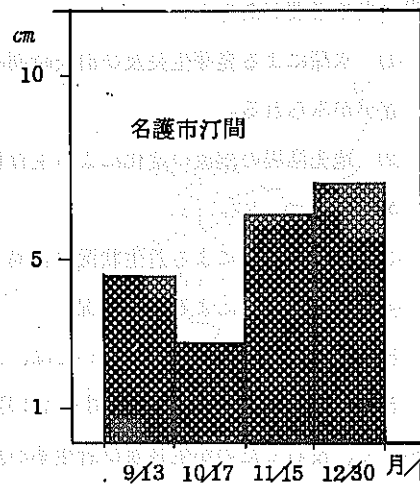
- ①: 名護市汀間、瀬岳地先
- ②: 今帰仁村古宇利周辺
- ③: 名護市久志辺野古地先



図一Ⅲ 地域別モズの着生率
(1ブロックに於ける着生率)



図一Ⅳ 投石日別モズの着生率
(1ブロックに於ける着生率)数
(): 投石日 数字: 個体数



図一Ⅴ 投石日別モズの生長
(49年2月14日現在の結果)

調査時の水温比重

事項 調査月日	①名護市汀間		②名護市久志辺野古		③今帰仁村古宇利		備考
	水温	比重	水温	比重	水温	比重	
昭和48年 12月12日~17日	22.0°	1.0230	22.1°	1.0240	—	—	※投石ブロックの個数 ① 2,500 個 ② 2,000 個 ③ 5,000 個
昭和49年 2月5日~14日	21.5°	1.0230	20.5°	1.0250	21.5°	1.0245	